

# 集合住宅の賦活・超断熱住宅

(スウェーデンの暖房のいらぬテラスハウス)

講師: ハンス・グスタフ・イーク氏

時間: 11 月 19 日(土) 14:00 ~ 16:00

会場: 国際交流会館 大会議室

通訳: あり

学部生・大学院生の皆様 お誘いの上、ぜひ奮ってご参加下さい!!



## 【講演内容(予定)】

下記を中心に、そのコンセプトや実際の建築について設計者自ら説明してもらいます。

### 古い団地の再生

ハンス・イーク氏の古い集合住宅改修(外断熱改修)の最初の仕事はアリングソース市のブローゴーデン地区が予定されています。ブローゴーデンは、1970年代にアリングソース市に建設された古い団地。ハンス・イーク氏によれば、「ブローゴーデンは特別なケースというわけではありません。少なくとも国内には、ブローゴーデンと同じ様な形式で建設されたアパートがまだ60万戸もあるのです。これら全部のアパートを低エネルギー住宅に変換できれば、スウェーデンでは原子力発電所を閉鎖して、同時に原油の輸入もやめ、その上、京都議定書も余裕をもってクリアできるのです。」

### 超断熱住宅

ヨーテボリ市近郊のリンダースにある“無暖房住宅(テラスハウス)”は、壁や窓の断熱を強化することで、最低気温が $-20$ にもなる地域で、暖房のいらぬ住宅を実現しています。

## 【略歴】

Hans Gustaf Eek (ハンス・グスタフ・エーク)

1948年6月1日 スウェーデンのエークシュー生まれ。

1967年イエテボリ大学の理論物理学部。

1974年チャルマシュ工科大学の建築設計学部修士課程を卒業。

工学修士と建築設計家(SAR)。

地理学者である友人から、「人間の住む地球は、薄いリンゴの皮のようなものであり、そこに人間の命や営みがある。化石燃料の使用で、地球の温度が上昇している。」との話を聞き、環境をテーマとしたEFEM設計事務所を1974年に仲間と設立。

1999年度からイエテボリ2050のコーディネーター。

2003年度イエテボリ国際環境賞を受賞。

2005年愛知万博「愛・地球賞」受賞。

『新しいエネルギーを考える前に、エネルギーを使わない住宅を建てる事が重要である。』(無暖房住宅)

活動の範囲はスウェーデンや北欧内にとどまらず、ドイツや欧州全土にも及んでいる。

お問い合わせ先: 須永修通 竹本さおり  
〒192-0364 東京都八王子市南大沢2-2 パオレビル6階  
首都大学東京都市建築ストック賦活更新研究センター  
TEL: 0426-70-8608 FAX: 0426-70-8135  
<http://www.4-met.org/info/>